

— 部落問題解決の到達点と軌跡を検証 —

第1回

部落問題解決をめざしてきた人々によるシンポジウム

日時 9月13日(土) 午後1時30分~4時30分

場所 岡山県民主会館 2階 A・B会議室

岡山市下伊福西町 1-53

参加費 無料

65年の「同和対策審議会」で「最も深刻にして重大な社会問題」と位置づけられた部落問題。それから40年余り経過する中で、「旧身分にかかわる部落問題は社会問題としては解決しており、政治的障害物といえる新たな要因による問題の克服が主要課題になっている」状況にいたりました。

今日の状況を迎えるには、部落問題解決を主体的に切り開いてきた運動と組織、そして多くの困難を乗り越えてきた人々の団結と連帯、その要となった人々のたゆまぬ奮闘があったからこそ、という思いがより強くなっています。

分断や懐柔を持ち込む権力的介入との闘いや問題解決の進展にともなう組織への影響など、さまざまな困難を経験してきた部落問題解決へのとりくみ。その時々、どういう構えで対処してきたのか、みんなで語り合っ検証していきたいと思います。

第一回目として、以下の方々にパネラーとなっただき、1960年代の「解放同盟」分裂、70年代の就職差別撤廃運動、八鹿高校事件、全解連結成、80年代の「民主教育」攻撃、「21世紀をめざす部落解放運動の基本方向」策定へのとりくみ、90年代の「特別措置法」廃止に向けた運動、などを語っていただきます。そして、参加者のみなさんとの討論で、今日だからこそという視点で深めていきたいと思います。

パネラー

石岡克美さん (元全国部落解放運動連合会執行委員長、現在岡山県人権連常任顧問)

長田 悟さん (元全国部落解放運動連合会青年部長、現在岡山県人権連副議長)

小林軍治さん (元県立高校教諭、現在岡山人権問題研究所事務局次長)

主 催 岡山県地域人権運動連絡協議会

岡山市下伊福西町 1-53 / 電話 086-253-2611

(担当、中島まで)